

研究成果の刊行に関する一覧表

1. Suganuma E, Oka A, Sakata H, Adachi N, Asanuma S, Oguma E, Yamaguchi A, Furuichi M, Uejima Y, Sato S, Takano T, Kawano Y, Tanaka R, Arai T, Oh-Ishi T. 10-year follow-up of congenital cytomegalovirus infection complicated with severe neurological findings in infancy: a case report. *BMC Pediatr.* 2018 Nov 23;18(1):369.
2. Koyano S, Morioka I, Oka A, Moriuchi H, Asano K, Ito Y, Yoshikawa T, Yamada H, Suzutani T, Inoue N, Japanese Congenital Cytomegalovirus Study Group. More than two years follow-up of infants with congenital cytomegalovirus infection in Japan. *Pediatr Int.* 60(1);57-62, 2018:.
3. Nakamura M, Kita S, Kikuchi R, Hirata Y, Shindo T, Shimizu N, Inuzuka R, Oka A, Kamibeppu K. A Qualitative Assessment of Adolescent Girls' Perception of Living with Congenital Heart Disease: Focusing on Future Pregnancies and Childbirth. *J Pediatr Nurs.* 38:e12-e18, 2018.
4. Ae R, Nakamura Y, Tada H, Kono Y, Matsui E, Itabashi K, Ogawa M, Sasahara T, Matsubara Y, Kojo T, Kotani K, Makino N, Aoyama Y, Sano T, Kosami K, Yamashita M, Oka A. An 18-Year Follow-up Survey of Dioxin Levels in Human Milk in Japan. *J Epidemiol.* 28(6);300-306,2018.
5. Nakamura M, Tanaka S, Inoue T, Maeda Y, Okumiya K, Esaki T, Shimomura G, Masunaga K, Nagamitsu S, Yamashita Y. Systemic Lupus Erythematosus and Sjögren's Syndrome Complicated by Conversion Disorder: a Case Report. *Kurume Med J.* 2018 Jul 10;64(4):97-101.
6. 野々山未希子, 永光信一郎, 服部律子. 高校生の対人関係への認識と性に関連する悩み. *日本性感染症学会誌* 2018;29:43-52.
7. 永光信一郎. 親子の心の診療に携わる人材を育成していくために. *小児の精神と神経* 2018;58(3):194-7.
8. 永光信一郎. オールジャパン体制で挑む子どもの心の臨床. *子どもの心とからだ.* 2018;26:414-417.
9. 永光信一郎, 松岡美智子. 思春期の患者・保護者への接し方のコツ. *小児科.* 金原出版, 2018;59(5):496-502.
10. 永光信一郎, 三牧正和. 健やか親子 21(第2次)「すべての子どもが健やかに育つ社会」を目指して *小児科* (印刷中)
11. 永光信一郎. 【被虐待児における学童・思春期の精神症状】特集: 児童虐待の実態を知ろう *思春期学* (印刷中)
12. 菅谷 明子, 片岡 祐子, 峠 和美, 假谷 伸, 前田 幸英, 大道 亮太郎, 佐藤 吏江, 西崎 和則. 次世代シーケンサーを併用した難聴の遺伝学的検査が有用であった小児難聴の3例. *日本遺伝カウンセリング学会誌*, 39, 145-150, 2018.
13. 片岡 祐子, 菅谷 明子, 福島 邦博, 前田幸英, 假谷 伸, 西崎 和則. 新生児聴覚スクリーニングの費用対効果の検討. *日本耳鼻咽喉科学会会報* 121, 1258-1265, 2018.
14. Shinohara Y, Nakatsuka M. : Descriptive Study of Gender Dysphoria in Japanese Individuals with Male-to-Female Gender Identity Disorder. *Acta Med Okayama* 72(2),143-151, 2018.
15. 櫻野千明, 瀬尾奏衣, 周宇, 新井富士美, 中塚幹也: "性同一性障害当事者における「特別養子縁組」や「生殖医療」により子どもを持つことへの意識". *G I D (性同一性障害) 学会雑誌*. 11(1),115-128, 2018.
16. 瀬尾奏衣, 周宇, 櫻野千明, 新井富士美, 中塚幹也: ジェンダークリニックを受診する性同一性障害当事者における戸籍上の性別変更のための手術要件への意識. *G I D (性同一性障害) 学会雑誌* .11(1),129-144, 2018.
17. 周宇, 南原あかり, 櫻野千明, 瀬尾奏衣, 中塚幹也: 高校生, 大学生における LGBT に関する知識と意識. *G I D (性同一性障害) 学会雑誌*. 11(1),157-167, 2018.
18. 中塚幹也: 配偶子保存の必要性と課題: 配偶子凍結に伴う倫理的問題. *臨床婦人科産科* .72(5),424-428, 2018.
19. 中塚幹也: 新連載: 助産師・看護師に知ってほしい LGBT の基礎知識「LGBT, トランスジェンダーって何?」. *臨床助産ケア*. 10(3),82-85, 2018.

20. 中塚幹也：Special Report L G B Tの基礎知識と性同一性障害診療の実際．Schneller．(107),3-6，2018．
21. 中塚幹也：連載第2回：助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「子どもの頃のLGBT当事者」．臨床助産ケア．10(4),72-75，2018．
22. 中塚幹也：性同一性障害への性別適合手術の保険適用の意義と今後の課題．月刊保団連．(1276),39-43，2018．
23. 中塚幹也：連載第3回：助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「思春期の性同一性障害の子どもとホルモン療法」．臨床助産ケア．10(5),96-99，2018．
24. 中塚幹也：連載第4回：助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「性同一性障害診療における看護スタッフの役割」．臨床助産ケア．10(6),103-106，2018．
25. 中塚幹也：“特集：思春期にまつわる最近の話題 13．思春期における性同一性障害”．産科と婦人科．85(12),1491-1495，2018．
26. 中塚幹也：連載第5回：助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「性同一性障害診療を行う外来の環境整備」．臨床助産ケア．11(1),100-104，2019．
27. 中塚幹也：連載第6回：・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「LGBTを性教育で取り上げる」．臨床助産ケア．11(2),76-80，2019．
28. 中塚幹也：性同一性障害に関する診療～保険収載時代への適合～．日本産婦人科医会報．70(7),10-11，2018．
29. 中塚幹也：文科省通知(2015年)に至るまで．G I D(性同一性障害)学会雑誌．11(1),55-56，2018．
30. 中塚幹也：GID学会の現在の課題と未来への展望．G I D(性同一性障害)学会雑誌．11(1),71-74，2018．
31. 中塚幹也：性同一性障害(GID)診療を取り巻く最近の状況 - 専門知識を持っておこうと思う方へ - ．日本女性医学学会ニューズレター．24(2),10，2019．
32. 中山秀紀，樋口進：物質関連および嗜癖性障害における寛解と再発、そして再発予防，精神科治療学,33(9), p1107-1111, 2018.9
33. 中山秀紀：久里浜医療センターでのインターネット依存治療について，日本精神科病院協会雑誌，37(10), p1014-1017, 2018.10
34. 中山秀紀，樋口進：今後活用が期待される検査 ヤングテスト(ネット依存テスト)，小児内科，50(9), p1449-1451, 2018.9
35. 中山秀紀，樋口進：インターネット依存，精神科，33(6), p511-515, 2018.12
36. 中山秀紀，上野文彦，三原聡子，樋口進：中学生におけるインターネット依存と睡眠問題との関連，日本アルコール・薬物医学会雑誌，53(5), p171-181, 2018.10
37. 中山秀紀：映像メディア・スマホ依存は赤ちゃんの時から 現状とその対策 メディア・スマホ依存の現状とその治療 依存症の治療施設の現状と治療，小児保健研究，77(6), p594-597, 2018.11
38. 阪下和美：米国の小児健診体制(Bright Futures)と本邦への応用の検討．日助産師本医師会雑誌 2018;147(3):568 - 572
39. 阪下和美：こどもの健康を促す小児予防医学～米国の健診システムから応用できること～．兵庫小児科医会報.2019.(現在発行中、刊未定)

書籍・教科書

1. 永光信一郎．起立性調節障害【今日の診断指針】医学書院（印刷中）
2. 永光信一郎．不登校【今日の診断指針 私はこう治療している 2019】医学書院
3. 片岡 祐子.14 事故 ,その他 新生児・乳幼児の聴覚障害.小児科診療ガイドライン-最新の診療指針- 第4版.737-740，2018.
4. 中塚幹也(監修): 個「性」ってなんだろう?中塚幹也(監修), 東京都, あかね書房, 1-112, 2018.
5. 中塚幹也：ライフプランを考えるあなたへ - まんがで読む - 未来への選択肢 < 拡大版 > ．岡山大学大学院保健学研究科編，岡山市，岡山大学大学院保健学研究科中塚研究室，1-53，2019．

6. 中塚幹也：第一章～思春期～ 8 同性愛、多様な性のあり方．女と男のディクショナリーHUMAN+改訂第二版．日本産科婦人科学会編，神奈川県，公益社団法人日本産科婦人科学会，P24，2018
7. 中塚幹也：第一章～思春期～ 9 性同一性障害．女と男のディクショナリーHUMAN+改訂第二版．日本産科婦人科学会編，神奈川県，公益社団法人日本産科婦人科学会，P25，2018．
8. 中塚幹也：2 章リプロダクティブヘルスに関する概念 2 節セクシュアリティとジェンダー．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，32-33，2019．
9. 中塚幹也：2 章リプロダクティブヘルスに関する概念 4 節性分化疾患．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，36-36，2019．
10. 中塚幹也：2 章リプロダクティブヘルスに関する概念 5 節性意識の発達．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，37-37，2019．
11. 中塚幹也：2 章リプロダクティブヘルスに関する概念 6 節性同一性障害．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，38-41，2019．
12. 中塚幹也：6 章生殖に関する生理 1 節女性の生殖器．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，98-102，2019．
13. 中塚幹也：6 章生殖に関する生理 2 節男性の生殖器．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，102-103，2019．
14. 中塚幹也：6 章生殖に関する生理 6 節性行動、性反応．ナーシング・グラフィカ母性看護学 概論・リプロダクティブヘルスと看護．中込さと子、小林康江、荒木奈緒編，大阪市，(株)メディカ出版，114-118，2019．
15. 中塚幹也：第 5 章性の多様性「1 性同一性障害」．助産師基礎教育テキスト 2019 年版．吉沢豊予子編，東京都，日本看護協会出版会，208-220，2019．
16. 中塚幹也：第 5 章性の多様性「2 性分化疾患」．助産師基礎教育テキスト 2019 年版．吉沢豊予子編，東京都，日本看護協会出版会，221-230，2019．
17. 中塚幹也：第 5 章性の多様性「3 同性愛」．助産師基礎教育テキスト 2019 年版．吉沢豊予子編，東京都，日本看護協会出版会，231-234，2019．
18. 中塚幹也：性分化疾患と性同一性障害．今日の治療指針．私はこちら治療している 2019 年版 (Volume61)．福井次矢、高木誠、小室一成編，医学書院，東京都，1310-1312，2019．
19. 中塚幹也：性分化疾患と性同一性障害．今日の治療指針私はこちら治療している 2019 年版 (ポケット判)．福井次矢、高木誠、小室一成編，医学書院，東京都，1310-1312，2019

研究成果による知的財産権の出願・取得状況：乳幼児健診の診察用アプリについて登録を検討中。

研究により得られた成果の今後の活用・提供：H30 年度に作成した小児の保健指導の骨子案（日本版 Bright Futures）を用いて、2 年度以降はさらに具体化した健診資料を作成し、パイロット研究にて実効性と有用性を検証する。

H30 年度に作成した、乳幼児健診の質問項目や診察項目等の資料および健診の際に使用可能なアプリケーションを用いて、2 年度以降は乳幼児健診のモデルを構築し、試行と効果の検証を行う。

小児保健医療の文献・データからの抽出された健康課題について、2 年度以降は健診の中で具体的な取り組みを行う。